ALTリレーコラム［第122回　雪の「毛布」 by ビグランド・エリック］ COLUMN

皆さん、こんにちは。初めまして、加悦中学校ALTのエリックと申します。

与謝野町に来て初めての冬、日本に来る前は、湿度が高く暑い夏を覚悟していましたが、冬の雪に対する忍耐力も試されるとは思いもよりませんでした。私の故郷であるアメリカのオレゴン州セーラムは、与謝野町と比べると温暖な気候のため雪は珍しく、雪が降ると街を「雪の毛布」が覆う、美しい光景を見ることが私のひそかな楽しみでした。

与謝野町の雪に「安らぎ」はありません、、、

子どものころに雪で遊んだこと、暖炉と焼きたてのクッキーなど、雪は幸せな記憶を思い起こす暖かい「毛布」のような存在です。なので、雪に対する感情は、与謝野町の人たちとはかなり異なるかもしれません。与謝野町の「毛布」はとても重く、冷たく、雪の中を車で走ると常に緊張し、まるで戦場の中にいるようです。

私の地元では、雪が多い年でも６～８㎝しか積もりませんが、まちが除雪機を保有していないため、雪の日の多くは学校や仕事が休みになります。一方、与謝野町ではその１０倍もの雪が積もっていても、早起きして雪かきをして、仕事に行かなければなりません。雪との格闘はとても困難ですが、地域のみんなが安全に過ごせるように助け合って雪かきをしている光景はとても印象的で、雪かきの後には何か大きなことをやり遂げた気分になりました。

達成感を得た１日の終わりには、温かいお風呂が身体を癒してくれます。しかし、今夜の天気予報は…雪！　皆さんもいつもより早めの目覚まし時計のセットをお忘れなく。

時の贈り物［第119回　駆け抜ける虎の屏風］

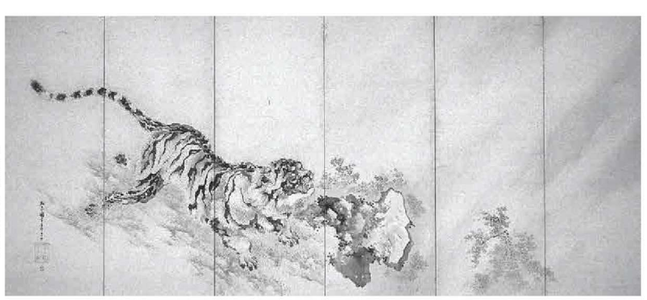
ちりめん街道にある「旧尾藤家住宅」の蔵に残されていたさまざまな絵画の中から干支にちなんで、江戸時代の京都で活躍した画家岸駒（がんく）（１７４９～１８３９）が描いた六曲屏風「咆虎図（ほうこず）」を紹介します。

岸駒は、岸派（きしは）の創始者となった画家で虎を得意とし、岸駒以降、虎図は岸派代々のお家芸とされました。本図は、雲間から顔を出す龍を描く「雲龍図」と対になり六曲一双屏風「雲龍・咆虎図」の向かって左半分を構成します。雲龍図には、天保９年（１８３９）の年紀と「九十翁」の記述があり、最晩年においても龍虎の大作を手がけていたことがわかります。

龍に向って口を大きく開き咆え声をあげる虎は、後肢や尾が中空に伸び切っており、今まさに岩山を駈けているところです。墨の濃淡を活かしとりわけ濃く描かれた縞模様の筆遣いが力強く、荒々しさを表現しながら左足裏の肉球をのぞかせているところにおかしみも感じさせ、咆えれば風を生み山を駈ける勢いを増すと言われた虎の躍動感を描き出しています。

岸駒の虎の襖絵は、江山文庫で開催中の屏風を特集した企画展でご覧いただけます。

（与謝野町教育委員会）


岸駒筆「咆虎図」
天保９年（１８３９）
紙本墨画　六曲屏風

図書館へ行こう！ BOOKS

ご当地グルメ

気軽に旅行ができるようになる日を待ちながら、おうちで読書を通じて日本各地の名産を味わうというのはいかがでしょうか？

『地理女子が教えるご当地グルメの地理学』
尾形希莉子・長谷川直子／ベレ出版

石狩鍋やふなずしなど、名前を聞いただけで地域が分かるご当地グルメは、なぜそこで生まれたのか？　４７都道府県を代表するご当地グルメの成り立ちを気候や地勢といった地理学の観点から解説した１冊。

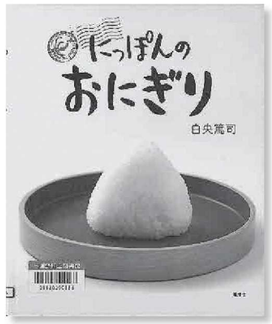
『全国神社味詣　幸せをよぶ参道グルメガイド』
松本滋／丸善出版

神社へのお参りのあとに食べ物をいただくことで、神様からの「御神徳（ごしんとく）（おかげ）」をいただくという考え方があるそうです。全国の神社６３社の参拝に欠かせない、時代を超えて愛される味を紹介した１冊。

『県民ごはん、作ってみました！』
もぐら／大和出版

引きこもりを自称する著者が、出かけなくてもご当地グルメが食べたいと、レシピはあれど「テキトー」に自分で作ってみたコミックエッセイ。料理の腕に自信がなくても気楽にチャレンジできそうな気持ちになれる１冊。

『にっぽんのおにぎり 写真絵本おにぎり風土記』
白央篤司／理論社



約２０００年前の化石からも発見されたおにぎりは、私たちにとって身近な食べ物。それを各地方で昔から作られていたり、特産品でアレンジしたものを、地図と写真で紹介しており、見るだけでお腹がすく絵本。

今月の新着図書

一般書　●『ボクもたまにはがんになる』三谷幸喜／幻冬舎 ●『デジタル遺品の探しかた・しまいかた、残しかた＋隠しかた』伊勢田篤史／日本加除出版 ●『まるありがとう』養老孟司／西日本出版社

児童書　●『さわるたんけんたい』仲谷正史／福音館書店 ●『北条義時』加来耕三／ポプラ社 ●『おにのパンツ』長谷川義史／フレーベル館 ●『ドラえもん探究ワールド心の不思議』藤子・Ｆ・不二雄／小学館 ●『キリン解剖記』郡司芽久／ナツメ社

Information　臨時休館のお知らせ

蔵書点検のため、次のとおり臨時休館します。

【休館期間】

本　　館	２月８日（火）～11日（祝）の４日間
野田川分室	２月16日（水）、17日（木）の２日間
加悦分室	３月１日（火）、２日（水）の２日間

図書館の最新情報はホームページから

江山文庫読書会「おとくの奉公ぶり」

■ **日時**　２月25日（金）
午後１時30分～３時
※ 毎月第４金曜日
問　江山文庫 ☎ 43-2180

●問い合わせ先／与謝野町立図書館 ☎ 46-2451　加悦分室 ☎ 43-0376　野田川分室 ☎ 43-0087
●開館時間／午前 10 時～午後６時　●休館日／毎週月曜（本館・加悦分室）、毎週火曜（野田川分室）、毎月最終木曜（共通）